

課題別研修 2019 年度「資源コース」コース 研修委託業務概要

1. 当該研修コースの概要

(1) 研修コース名：

2019 年度課題別研修「資源コース」コース

(2) 履行期間：2019 年 10 月 2 日から 2019 年 11 月 12 日まで（予定）

(3) 技術研修期間：2019 年 10 月 3 日から 2019 年 11 月 11 日まで（予定）

(4) 研修員

1) 定員：10 名

2) 研修対象国：コンゴ民主共和国、モンゴル、チリ、イラン、ジンバブエ、モザンビーク

3) 研修対象組織・対象者：

- ・職務経験：政府機関およびそれに準ずる機関、並びに大学等の公的機関で開発・環境関連業務に携わる者。
- ・学歴：大学で鉱物資源開発・環境分野に関連する学位を取得した者
- ・年齢：40 歳以下
- ・語学：十分な英語の読解力、会話力を有する者
- ・健康状態：心身ともに健康で研修に耐えうる者

(5) 研修目的（案件目標）

資源探査・開発及び環境対策におけるリモートセンシング及び GIS 活用を基礎と実例を通じて学び、適切な資源探査知識・能力を向上させる。

(6) 研修内容

資源探査・開発及び環境対策におけるリモートセンシング及び GIS の活用並びに効率的な探査の立案・実施能力を高めるための研修を実施する。研修の実施に当たっては関連する国内組織・大学との連携を図り、親日的幹部の育成が期待される。

(7) 使用言語：英語

当該言語で講義を行うこととするが、必要に応じ機構は研修監理員を手配する。

(8) 業務実施場所：

研修に必要な施設・機器を有する受託機関並びに「資源の絆」研修員受け入れ大学である秋田大学・九州大学などを想定

(9) 契約金額：

機構が定める研修実施経費基準に基づき積算した見積書をもとに、契約交渉を経て決定する。

2. 委託業務の範囲及び内容

(1) 研修実施全般に関する業務

- ① 日程・研修カリキュラムの作成・調整
- ② 研修実施に必要な経費の見積り及び経費処理
- ③ 研修実施要領の確認（評価項目・評価基準の策定）
- ④ 研修員選考への助言
- ⑤ 当機構その他関係機関との連絡・調整
- ⑥ 研修監理員との調整・確認
- ⑦ コースオリエンテーションの実施
- ⑧ 研修の運営管理とモニタリング
- ⑨ 研修員の技術レベルの把握
- ⑩ 各種発表会の実施
- ⑪ 研修員作成の各種レポートの分析・評価
- ⑫ 研修員からの技術的質問への回答
- ⑬ 評価会への出席、実施補佐
- ⑭ 開・閉講式への出席、実施補佐
- ⑮ 反省会への出席
- ⑯ 講義、視察の評価

(2) 講義（演習・実習）の実施に関する業務

- ① 講師の選定・確保
- ② 講師への講義依頼文書の発出
- ③ 講義室及び使用資機材の確認
- ④ 講義テキスト、資機材、参考資料の準備・確認（翻訳依頼、印刷、著作権処理を含む）
- ⑤ 講義等実施時の講師への対応
- ⑥ 講師謝金の支払い
- ⑦ 講師への旅費及び交通費の支払い
- ⑧ 講師（又は所属先）への礼状の作成・送付

(3) 見学（研修旅行）の実施に関する事項

- ① 見学先の選定・確保と視察依頼文書又は同行依頼文書の作成・送付
- ② 見学先への引率
- ③ 見学謝金等の支払い
- ④ 見学先への礼状の作成と送付

(4) 事後整理

- ① 業務完了報告書（教材の著作権処理報告含む）及び経費精算報告書の作成
- ② 資源の絆プログラムとの連携にかかる当機構への提言

3. 留意事項

- 当機構は、本研修コース実施にあたって、英語の研修監理員を配置予定。
研修監理員は、講義、演習・実習及び見学・研修旅行時の通訳を兼務する
- 本業務概要は予定段階のものであるため、詳細については変更となる可能性もある。

以上